



制作協力：富山県山岳遭難対策協議会、富山県警察本部地域部山岳安全課、富山県山岳連盟、立山ガイド協会、立山山荘協同組合

数字が大きくなるほど体力が必要 体力度

＜**室堂から入山する場合の注意事項

- ・ 室堂は、交通機関で容易にアクセスできますが、標高2,450mの高山帯に位置します。
- ・ 充分な高度順化をしないまま登山を開始することは、高山病や脱水症状などの原因となります。
- ・ 高山帯である室堂から出発する各登山ルートは、体力度の数値以上に、体に負担がかかります。
- ・ 少しでも体調不良を感じた場合は、速やかに引き返すなど、余裕を持った行動を心がけてください。

※1 このルートは体力度4以上（1泊以上が適当）だが、途中で宿泊施設・テント場がないので、**登山者によっては日没までに下山できなくなる恐れ**があります。

※2 このルートは体力度4以上（1泊以上が適当）だが、途中で避難小屋しかないので、**宿泊の準備が必要**です。

※3 このルートは体力度9以上（2～3泊以上が適当）だが、梅海新道（朝日小屋から親不知の間）に無人小屋がないので、**宿泊の準備が必要**です。**

技術的難易度 右になるほど難易度が増す

登山道	◇ 概ね整備済み ◇ 転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い ◇ 道迷いの心配は少ない	◇ 沢、崖、場所により雪渓等を通過 ◇ 急な登下降がある ◇ 道が分りにくいところがある ◇ 転んだ場合に、転落・滑落事故につながる場所がある	◇ ハシゴ・鎖場、また、場所により雪渓や渡渉箇所がある ◇ ミスをするとな転落・滑落などの事故になる場所がある ◇ 案内標識が不十分な箇所も含まれる	◇ 厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・鎖場、載漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や渡渉箇所がある ◇ 手を使う急な登下降がある ◇ ハシゴ・鎖場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い	◇ 緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続く、転落・滑落の危険箇所が連続する ◇ 深い載漕ぎを必要とする箇所が連続する場所がある
技術・能力	◇ 登山の装備が必要	◇ 登山経験が必要地図 ◇ 地図読み能力があることが望ましい	◇ 地図読み能力、ハシゴ・鎖場などを通過できる身体能力が必要	◇ 地図読み能力、岩場・雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ◇ ルートファインディングの技術が必要	◇ 地図読み能力、岩場・雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要。 ◇ ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要 ◇ 登山者によっては、ロープを使わないと危険な場所もある

- 1 この表は、無雪期・天気良好という条件下での、ルート固有の地形的な特徴について、体力度と技術的難易度を評価したものです。実際の登山では、体力度と技術的難易度以外に、悪天候・残雪・体調不良・準備不足、その他偶発的な要因による様々なり スクがあるので、それらに配慮した登山計画を立てることが必要です。
- 2 この表に記載した登山ルートは、富山県内（一部県外ルート含む）で比較的登山者が多いものから選定しました。国土地理院地図に未記載の登山道や公的な管理がされていない登山道を含んでおり、全ての登山ルートについて、通行や登山の安全を保障するものではありません。また、グレーディング対象ルートでの事故について、一切の責任は負いかねます。
- 3 コースタイムに休憩時間は含まれません。また、一般的な登山ルートにあたらない、特に条件の厳しい登山ルートは評価の対象外としました。 【例】剎岳北方稜線、長次郎谷、平蔵谷
- 4 登山道の状況は、年や季節によって大きく変化します。特に初氷をはじめとするシーズン後半まで残る大規模な雪渓は、表面の凍結やクレバス※、シュルンド※、スノーブリッジ崩落など、変化が激しく、致命的な事故の原因となります。登山前に周辺の山小屋や警察などに、ルートの状況を確認してください。
※クレバス：雪渓表面の割れ目。深さ数メートルに達することもある シュルンド：雪渓と側壁の間にできる隙間
- 5 日ごろから体力・登山技術のトレーニングを行い、登山に際しては、事前に登りたい山の調べ、登山計画立案、登山届提出等の準備をしっかりと行った上で、安全を最優先し、状況に応じて登山の中止や引き返すことを念頭に置いて行動してください。
- 6 民有地での無許可駐車や路上駐車は、絶対にしないでください。